



# 足立区議会だより

発行/足立区議会 ☎(3880)5996(直通)  
ホームページ <http://www.gikai-adachi.jp> No. 217

## 第3回 定例会

R100  
古紙配合率100%  
再生紙を使用しています



足立区内消防団合同点検

### 平成18年第3回定例会 会議のあらまし

平成18年第3回定例会は、9月21日から10月20日までの会期30日間で開会しました。  
今定例会では、区長提出議案32件、報告2件、議員提出議案5件を審議しました。  
また、区民のみなさんから提出された請願・陳情を審議しました。結果については、本文記載のとおりです。

#### 平成17年度各会計 歳入歳出決算を認定

区長が提出した平成17年度「一般会計」「国民健康保険特別会計」「介護保険特別会計」「老人保健医療特別会計」の4会計の歳入歳出決算議案については、決算特別委員会を設置して審査しました。

同特別委員会では、10月2日から11日までの計6日間にわたり審査を行い、その結果、会計歳入歳出決算は、いずれも認定すべきものとし、本会議においても認定の議決をしました。  
(決算特別委員会の審査と本会議の議決は6頁、各会派の討論要旨については7頁に掲載)

#### 平成18年度各会計 補正予算原案可決

平成18年度一般会計補正予算(第1号)、国民健康保険特別会計補正予算(第1号)、介護保険特別会計補正予算(第1号)の3会計の補正予算案は、全て原案のとおり可決しました。

#### その他の区長提出議案

その他の区長提出議案25件は、全て原案のとおり可決しました。

#### 議員提出議案

議員提出議案5件のうち「北

#### 朝鮮の核実験に抗議する決議

「ドクターヘリの全国配備を推進するための新法の制定を求める意見書」の2件については、全会一致により可決しました。  
また、可決した決議・意見書は、関係機関に送付しました。  
なお、他3件のうち1件は否決し、1件は継続して審査することとしました。  
(決議・意見書は6頁に掲載)

#### 請願・陳情を審査

区民のみなさんから提出された請願・陳情は、採択1件、不採択1件で、他37件及び新規付託8件については、継続して審査することとしました。

#### 主な内容

- 区政を問う(各会派代表一般質問).....2頁
- 議決結果・報告.....5頁
- みなさんからの請願・陳情.....6頁
- 今定例会で可決した決議・意見書.....6頁
- 決算特別委員会を設置.....6頁
- 決算特別委員会各会派討論(要旨).....7頁
- 東京都・足立区合同防災訓練に足立区議会議員も参加.....8頁
- 平成17年度各会計決算グラフ.....8頁

「議員(候補者等を含む。)からの寄付は、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をも以って禁止されています。」

たとえば、お祭り・運動会・親睦旅行会・会合等の行事や、入学式・卒業式の行事に対し、寄付・お祝い・差し入れ等を行うことが禁じられています。

また、個人に対しても、お祝い金(入学・卒業等)・贈り物(お歳暮・お中元等)をすることも禁じられています。なお、例外的に罰せられない行為として、議員本人が持参する結婚式のお祝い・香典があります。

区民の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成18年度  
足立区内消防団合同点検  
写真は、十月八日に荒川河川敷(関原一丁目付近)で行われた合同点検の様子です。区内には、足立、西新井、千住の3つの消防団があり、約千数百人の消防団員が、火災や震災等の災害から区民を守るため、日夜訓練に励んでいます。

代表・一般質問  
議案の審議に先立ち、各  
会派を代表する10名の議員  
が、区政全般について質問  
を行い、区政執行に当たる  
区長をはじめ執行機関の考  
えを尋ねました。  
以下、その一部を掲載し  
ます。

代表・一般質問を平成18年9月  
21日・22日・25日に開会した  
第3回定例会本会議で行いました。

足立区議会自由民主党

本当の豊かさ

安全・安心な生活環境を



自由民主党

藤沼 壮次 議員

格差社会の象徴となった区のイメージ回復をどう図るのか

【問】区が文芸春秋によって格差社会の象徴になってしまった。記事に対する反論として区の見解を示したが、その後もマスコミで度々下層社会のシンボルとして扱われている。今後イメージの回復を図るため、どのような対策を考えているのか。

【政策経営】平成18年第2回定例会の区長挨拶で、「理不尽で不当だ」と反論し、複数の報道機関で取り上げられ、「よく反論してくれた。」という読者の声も多数寄せられた。今後、誤解を招くような報道や記事には毅然とした対応を取っていく。

【問】区は、現在2つの新線の開通等により、利便性が飛躍的に高まってきている。さらに、東京芸術大学千住キャンパスと、シアター1010、あだち産業芸術プラザを有機的に連携させ、「文化産業・芸術新都心構想」の実現を目指すことで、区のイメージアップを図っていく。

【問】①格差が固定しないよう



公共施設等の外部化で安全性の確保をどう考えているのか

【問】ふじみ野市のプール事故のように、施設の管理・運営の外部化により経費の削減はできても、安全面が保障されないようではいけない。今後、外部化が増えるが、その際の安全対策についてどう考えているのか。

【政策経営】公共サービスを民間事業者に委ねる場合は、災害時や不測の事態等における適切な処置、責任分担の明確化、再委託の禁止など、安全対策に配慮した取り組みが必要である。

【問】当区では、当初3交番が廃止されると発表された。その後見直され、2交番が防犯活動拠点として残ることになったが、その内容はどのようなものか。

【危機管理】警視庁管理の安全連絡所として警視庁OBを活用する方向で検討中であり、町会・自治会との調整も踏まえた上で、自治会との調整も踏まえた上で、認可外保育園の保護者負担の軽減と保育園の公私格差の是正を

【問】認可保育園に集中するのは、認証保育園等の費用が割高だからではないか。保護者の負担軽減策を考えているのか。

【問】認可保育園に集中するのは、認証保育園等の費用が割高だからではないか。保護者の負担軽減策を考えているのか。

また、公立保育園の民営化が進む現在、公私格差の是正も必要と思うがどうか。

併せて、保育ママ制度を充実すべきと思うがどうか。

【子育て】平成19年度に、認証保育所等の利用者助成制度を発足するための準備を進めている。また、公立保育園の民営化を推進する上で、課題となっている産休明け保育実施園への非常勤職員の増配置を、平成19年度を目途に準備している。

【問】西新井駅西口地区に開設する足立洪生病院小児科の夜間診療の実現見通しはどうか。



【衛生】移転に先立ち、本年5月より現在地で週1回非常勤による小児科を開設した。移転後は、平日午前9時から午後10時まで小児診療を実施する予定と聞いている。

【問】コミュニティバス「はるかぜ」の新規路線実現の課題は何か。

また、北千住駅から新田地域への延伸について積極的に支援すべきと思うがどうか。

【土木】新規路線運行の課題は、採算に見合う需要予測と運行経路の走行性・安全性である。

また、新田地域は、都営バスが運行しており、既存バス路線を補完するための「はるかぜ」としては、延伸は難しい状況である。

【問】子どもの権利条例」を検討すべきではないか。

【問】今、各地で「子どもの権利条例」制定の動きがある。人権をことさら強調し、義務を軽視するような条例は検討すべきではないと思うがどうか。

教育を根本からもう一度  
本来の教育に戻すべきだ!



自由民主党

せぬま 剛 議員

私立幼稚園の入園料補助金を拡大すべき

【問】当区は、私立幼稚園の入園料補助金は3万円であるが、来年度予算で6万円程度とする考えはないか。そして、近い将来には葛飾区と同額の10万円程度にする考えはないか。

【教育長】区内にある私立幼稚園入園料の平均は9万円弱であり、私立幼稚園児家庭の経済的負担は厳しくなっている。区の財政状況を勘案しながら増額する予定である。

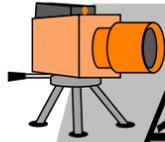
【問】今、各地で「子どもの権利条例」制定の動きがある。人権をことさら強調し、義務を軽視するような条例は検討すべきではないと思うがどうか。

【教育事業】各地の条例の内容は、子どもに「社会のルールを守る義務」等を身に付けさせることにあるが、区は現在、条例を検討する予定はない。

【問】大半の学校は、国旗を日曜日や雨の日も掲げたままである。生徒が国旗を朝揚げて夕方降ろす学校は、生徒が大きな思い出と誇りを持って学校を巣立



# 代表・一般質問



本会議の録画中継は  
区議会ホームページでご覧いただけます

ホームページ <http://www.gikai-adachi.jp>

# 区政を

生徒は褒めたい。  
正しい歴史教育を行うべきだ  
【問】日本が、そうであったかのように歴史認識が歪曲され、利用されることは断じて許されない。すばらしい伝統や文化、人物をきちんと伝える正しい歴史

史教育を行うべきではないか。  
【教育】歴史教育のねらいは、わが国の歴史に対する愛情を深め、国を愛する心情や国民としての自覚を育てることであり、今後も、学習指導要領に基づいた歴史教育を推進していく。

## 竹ノ塚駅鉄道高架化の早期実現を！ 少年野球場の整備を！



自由民主党

くじらい 光治 議員

コミュニティバス「はるかぜ」の再編整備の現状はどうか

【問】日暮里・舎人線の開業に合わせて、バス路線の再編整備があると思うが現状はどうか。

また、竹ノ塚駅から伊興遺跡公園を通り、舎人公園を結ぶコミュニティバス「はるかぜ」の新路線の実現性はどうか。

【土木】再編計画に基づき、関東運輸局や、隣接市、バス事業者と運行について検討している。

また、竹ノ塚駅と舎人公園を結ぶ「はるかぜ」は、「都市交通懇話会」で実現性を協議する。竹ノ塚駅鉄道高架化による東西バスルートの実現を

【問】竹ノ塚駅を東西に結ぶバス路線が必要だ。開かずの踏切を解消するには鉄道高架化しかない。実現性はどうか。

【市街地】鉄道高架化は、国庫補助を導入した連続立体交差事業調査を実施しており、次の段階である着工準備採択が可能となるよう努力している。

東西バスルートは、今後、鉄道立体化の進捗状況を見ながらバス業者に要望していく。

少年野球場を整備する計画はあるのか

【問】①少年野球場の整備に対する基本的な考え方を伺う。

また、②公園整備計画に少年野球場整備を入れられないか。

【教育】①青少年の健全育成を図る大切な場であるが、区の財政事情は厳しく、有効な候補地もないことから困難である。

なお、都立施設に少年野球への開放を積極的に要望していく。  
【土木】②区立公園の規模や野球以外の公園利用者の合意等の課題もあるが、検討していく。



# 足立区議会公明党

## 高齢者世帯にサービス充実を！ 健康増進の為に生涯スポーツの 振興を！



公明党

たがた 直昭 議員

区民に対し、税制改正の事前周知が必要では？

【問】本年、税制改正により税額が変更になった方が多く、問い合わせも多数あった。来年度の税制改正も対象者が多い。事前の説明が十分に必要と思うが、対策を伺う。

【区民】税制改正の内容については、あだち広報に掲載すると共に、11月中旬に税制改正特集号を発行する他、集会等での出張説明、ホームページでの周知を図っていく。

頑張っている商店街に対し、積極的な支援を！

【問】区民・NPO・地域団体・企業等との協働により「後継者塾・やる気塾」を立ち上げる等区として支援していくべきと思うがどうか。

【産業経済】従来より商店街活性化のための事業支援を行ってきたところではあるが、今後、NPO・地域団体等と協働して積極的に取り組んでいる商店街に対して、より一層の支援策を講じていく。  
独居高齢者や高齢者のみ世帯に対し、更なるサービス提供を！

【問】近親者の援助や介護サービスの提供を受けていない高齢者に対する安心ネットワーク事業はあるが、更なる「身の回り」の雑事等、在宅での利便性の高いサービスを提供する仕組みづくりが重要と思うがどうか。

【福祉】在宅での利便性の高いサービスを提供することは、介護サービスの漏給防止や消費者被害の防止に有効であると考えている。他の施策との整合性を勘案しながら検討していく。

事業者が小規模多機能型居宅サービスに進出できる支援策を！

【問】小規模多機能型居宅サービスの整備について、名乗りを上げる業者が少ない。事業者がこのサービスに進出できるように積極的な支援策に取り組むべきと思うがどうか。

【福祉】小規模多機能型居宅介護サービスは、全国的にも整備が進んでいない状況である。区としては事業者の進出を促すため、あだち広報等でPRと募集を周知すると共に、全事業者が参加する「介護保険事業者連絡会」でも積極的に勧誘している。  
また、地域密着型サービス事

業の整備に、国の「地域介護・福祉空間整備等交付金」を最大限に活用し、事業者にとって有利となるよう努力していく。  
私立幼稚園の入園料補助金を増額すべきである

【問】現在、入園補助金については、3万円支給されているが、入園料は8～12万円位が必要とされている。現状を考えると入園料補助金を来年度より倍額の6万円に増額し、段階的に10万円にすべきと思うがどうか。

【教育】私立幼稚園児家庭の経済的な負担が一層厳しくなっている現状を踏まえ、幼児教育支援策の一つとして増額する予定である。段階的な入園料補助金の引き上げについては、私立幼稚園補助金制度全体の仕組みの中で検討していく。

生涯スポーツの振興のために

【問】フットサルは、現在総合スポーツセンターの小体育室を試行的に開放し利用されているが、既存の施設を工夫する等、専用の開放施設を検討すべきと思うがどうか。

【教育】フットサルについては、施設の保護、安全面の配慮が特に必要な種目である。今後、地域学習センターについても、施設開放の条件整備について検討していく。



## 耐震対策を重視した まちづくりを！



公明党

たきがみ 明 議員

耐震化率90%の目標は、少しでも早く実現すべきである

【問】区の耐震診断・改修助成等、耐震対策における住宅助成の大幅な増額を、重点期間を設けて推進すべきと思うがどうか。

【建築】今後2年間を強化期間として、耐震補強の積極的な推進と助成制度の充実を図り、目標の早期実現を目指していく。  
五反野駅前三二交通広場の早期実現を！



【問】①早急に現況測量を行い、整備計画を実施すべきと思うが、今後のスケジュールを伺う。  
また、鉄道事業者に対し、広

### 子育てや子どもの読書活動の支援の充実を!



公明党  
明石 幸子 議員

場整備の協力要請と共に、五反野駅のエレベーター設置を強く要望すべきと思うがどうか。  
【市街地】平成21年度中の整備及び供用開始を目指すと共に、事業者に協力を要請していく。  
【福祉】鉄道事業者エレベーター設置を働きかけていく。

子育て家庭の負担を軽減する支援策を!  
【問】おむつ代が月1万円以上になる為、支援してほしいという声が寄せられている。子育てしやすい環境作りの一つとして、紙おむつの支給をしてはどうか。  
【問】整備状況は各校で異なるが、魅力ある図書館を目指し環境整備している学校もある。プロジェクトチームを作り、全校を対象とした図書館環境改革を実施すべきと思うがどうか。  
【教育事業】平成19年度に「学校訪問チーム」を編成し、巡回活動を実施していく。平成22年度には全校に拡大、学校図書館の環境改革を進めていく。



【子育て】仮に0歳児に月1万

## 日本共産党足立区議会

### 負担増による区民の苦しみを、区政はきちんと受け止めて!



日本共産党  
ぬかが 和子 議員

区長は区民のくらしを最重点にお金を使っていない!  
【問】鈴木区政の8年間で区財政はつるおい、過去10年で最高の478億円の基金残高となったが、区民の生活は以前にも増して深刻になった。お金はあっても、区民のくらしを最重点にしている区長の政治姿勢の現われではないか。  
【区長】区長就任以来基金残高は増加している。これは、将来にわたる区民サービス提供のため、今、基金を取り崩す考えはない。  
【問】以下の項目について、来年度予算での実施を求める。  
小児初期救急(夜間診療)の平成19年度完全実施に向けた関係機関への支援。子ども医療費助成(通院医療)の中学校卒業までの段階的拡充。学童保育の待機児解消を図るための増設。

【衛生】①平成19年度は週2日の試行、平成20年度から完全実施に向け医師会と協議している。  
【子育て】②大きな財政負担となる。都の補助制度の動向や財政状況を見て検討する。  
【区民】③平成19年度は新設2ヶ所、定数増2ヶ所を予定。障害者への支援は十分なサービス量を確保せよ!  
【問】①今年度策定する障害者計画は、必要なサービス量を十分確保すべきと思うがどうか。また、障害者への就労支援強化を図るべきと思うがどうか。小規模作業所など精神障害者の通所施設の利用料は、引き続



日本共産党  
針谷 みきお 議員

### サービスが低下し、コスト増になる民間委託はメリットがない

き無料にすべきと思うがどうか。  
【福祉】①国の策定指針に基づき、必要なサービス量を明らかにしていく。  
また、就労支援は一層の強化を図っていく。  
【衛生】②通所施設の継続利用が重要なため、利用料の本人負担への支援を優先して行いたい。環境問題  
地球温暖化対策は足元から  
【問】区全体の温室効果ガス削減目標を持ち、地球温暖化対策地域協議会を設けるべき。  
また、プラスチックゴミの焼却を10月からモデル実施し、平成20年には全区で実施しようとしている。これは減らす努力に逆行し、安全性の面でも検証が

【区民】個人情報の管理に万全を期する体制を確立する。  
また、常に区長の管理権が及ぶ体制をとるので、法に違反することはないと考える。

不十分と思うがどうか。  
【環境】23区共通の算定手法の検討結果を踏まえ、CO2排出削減目標を定め、地域推進計画の策定を検討していく。協議会の設置は、環境審議会等の活用で対応していく。  
また、廃プラスチック焼却の安全性は、自主規制値を設定し安全に十分配慮しながら進める。



【問】高齢者のシルバークロスタスは適用されると考えるがどうか。  
また、区民が利用しやすく低廉な料金になるのかどうか。

### 区民要望の実現を!



日本共産党  
鈴木 秀三郎 議員

【土木】シルバークロスタスの適用を含め、住民が利用しやすい運賃え、都に要望していく。  
となるように区民要望等を踏まえ、都に要望していく。  
【問】芸術性を理由に施設の案内表示がわかりにくい。設置者に改善を申し入れるべきだ。  
また、同施設内のあだち若者サポートステーションも、案内看板の設置や、事業内容の周知をすべきと思うがどうか。  
【産業経済】より使いやすい施設となるよう、総合商事株式会社に要望していく。  
また、若者サポートステーションについても、関係機関と協議し周知を図っていく。  
北千住駅東側地域にコミュニティバス  
【土木】足立区都市交通懇話会において、新路線運行の実現性について協議する。



## 足立区議会民主党

### 戦略を立て

### 積極的に取り組み!



民主党  
鈴木 あきら 議員

【問】足立区は、便利な都会と癒しの田舎の両方を兼ね備えた恵



### 継続審査としたもの

足立区介護保険条例の一部を改正する条例議員提出議案(高齢者全体の生活をかんがみて、介護保険料全体の緩和をはかるもの)

### その他の議案

#### 可決したものの

負担付き贈与にかかる財産の受け入れについて  
東京都所有の土地の贈与を受け入れるもの  
財産の処分について  
(旧足立区立上総湊健康学園の土地・建物を売却するもの)

## 報告

#### 損害賠償額の決定

マンションのごみ集積所に進入するため、清掃車を後退させていたところ、清掃車の右側後部が相手方マンションの非常階段手摺に接触し、損害を与えた額(10万2千480円)の決定  
放棄した債権の報告について  
足立区の債権の管理等に関する条例第14条に基づき、区の債権について放棄したものの

#### みなさんからのお願い・陳情

#### 採択したものの

犬及び猫の不妊去勢手術助成金制度の創設を求める請願(11項)

#### 不採択としたもの

住区センターの一部有料化を無料に戻す陳情  
陳情の趣旨に沿いかなる

## 今定例会で可決した 決議・意見書(全文)

### 北朝鮮の核実験に抗議する決議

10月9日、北朝鮮は、国際社会の強い懸念と非難を押し切つて、核実験を実施したと発表した。これが事実とすれば、世界の安全を脅かす許しがたい暴挙である。

すでに国連安保理は、北朝鮮の核実験声明後、わずか3日という早さで北朝鮮に警告する議長声明を全会一致で採択しているにもかかわらず、核実験が断行されたことは核拡散防止に努力する国際社会への重大な挑戦である。

わが国は、広島・長崎への原爆投下により、人類未曾有の悲劇を体験した。また、首都東京も、戦禍により多くの尊い人命が犠牲になったため、核兵器の廃絶や国際平和を心から願っている。

しかし、北朝鮮は、これまでモラ致やミサイル発射などを繰り返し、国際社会のルールや秩序を無視して平然とした態度をとり続け、自らの非を認めようとしていない。

よって足立区議会は、北朝鮮の核実験に対し厳重に抗議するとともに、北朝鮮が、六カ国協議に早期・無条件に復帰し、全ての核兵器及び核計画の放棄と、ミサイル、拉致などの問題解決にも誠実に対応するよう強く求めるものである。



以上、決議する。

#### 足立区議会

### ドクターヘリの全国配備を推進するための新法の制定を求める意見書

1分1秒を争う救急医療の「切り札」としてドクターヘリの全国配備が強く望まれている。特に近年、医師の偏在や不足が深刻化しつつある中で、患者がどこにいても短時間で治療や搬送を行うドクターヘリの配備の必要性は高まっている。

日本の現状はドクターヘリが広く普及している欧米諸国と比べると大きな格差がある。例えば、1970年に世界に先駆けてドクターヘリを導入したドイツでは、その後20年間で交通事故による死亡者数を約3分の1にまで劇的に減少させている。

また、山岳地帯が多いスイスでは、国内どこへでも概ね分以内で医師を乗せたヘリを現場に派遣して、治療行為を開始できる体制をとっている。

しかし、日本では平成13年度からドクターヘリ導入促進事業がスタートしたが、現在、岡山(2機)、千葉、愛知、福岡、神奈川、和歌山、北海道、長野の9道県10機の運行にとどまっている。導入が進まない要因の一つは、運営主体となる都道府県や病院の過重な財政負担であることが指摘されている。



よって、足立区議会は国会及び政府に対し、救急救命に大きな効果を上げるドクターヘリの全国配備を推進するために、下記の事項を含めた体制整備に必要な措置を図る新法の制定を強く求めるものである。

- 1 国と都道府県の責務を明記すること。
  - 2 国が整備に必要な経費を補助すること。
  - 3 運行費を支給するなど財政安定化を図ること。
- (衆・参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣あて)

本紙に掲載いたしました、代表質問や一般質問、議案の内容等は概要です。現在、本会議録を作成中ですので、詳細については、11月中旬以降、区議会事務局・区政情報室・区立図書館でご覧ください。また、ホームページにも掲載いたします。

## 平成17年度各会計決算 決算特別委員会での審査と本会議の議決

### 決算特別委員会を設置

今定例会に区長から、平成17年度「一般会計」「国民健康保険特別会計」「介護保険特別会計」「老人保健医療特別会計」の歳入歳出決算についての議案が提出されました。

議会はこれらの議案を審査するため9月25日の本会議において、決算特別委員会を設置しました。10月2日に本委員会を開会し、くじらい光治委員長、洲上隆副委員長、針谷みきお副委員長を選任し、10月11日まで計1日間審査を行いました。

### 決算の概要

平成17年度は、新基本構想、基本計画及び中期財政計画に基づき区政運営を行う最初の年でした。この予算を「活力と安心で魅力あるまちを創る予算」と銘打ち編成し、執行されました。

一般会計の歳入は2千282億5千111万129円、前年比1.75%増。歳出は2千230億6千832万2千835円、前年比1.8%増となりました。

普通会計決算の実質収支は、47億円黒字、前年比約10億円減。財政運営の弾力性や健全性を示す経常収支比率は10%で、前年比では1.1ポイント改善しました。

しかし、依然として財政調整交付金への依存度は高まっています。特別区民税の安定的確保策を講じる必要があり、今後の行財政運営の大きな課題です。

### 主な質疑内容

歳入の確保や歳出の見直し、区のイメージアップ、教育の諸課題等について、多くの委員が質疑を行いました。

歳入に関しては、収入未済や不納欠損対策、口座振替新規加入促進等、区の取り組み状況について質疑を行いました。

歳出に関しては、子育て支援、健康増進対策、高齢者・障害者福祉への取り組み等、様々な角度から質疑を行いました。

区のイメージアップに関して、ホームページの活用や更なるPR、偏った認識の報道対応について質疑や要望をしました。

教育に関しては、食育、環境教育、特別支援教育、教科書採択、私立幼稚園入園補助金等、幅広く質疑を行いました。

区民事務窓口の民間委託に関しては、費用削減効果、個人情報対策等の質疑を行いました。

その他、鈴木区政2期8年間の取り組みと成果について、那

須区民保養所の廃止等の手続きについて、東京芸術センターについて、コミュニティバスの新設・延伸について、住宅耐震助成について等、各委員は、区政全般に幅広く、かつ活発に質疑を行いました。

### 決算特別委員会での審査結果

10月11日に質疑を終了し、各会派討論の後、採決しました。その結果、平成17年度「一般会計」「国民健康保険特別会計」「老人保健医療特別会計」の歳入歳出決算については、全会一致で認定すべきものと決し、審査を終了しました。

### 本会議での議決結果

10月20日の本会議において、くじらい光治委員長が、本特別委員会での審査結果を報告しました。その後採決を行い、委員会決定のとおり認定しました。

## 決算特別委員会委員 (24名)

くじらい	光治	委員長	明石	幸子	委員
淵上	隆	副委員長	きじま	てるい	委員
針谷	みきお	副委員長	たきがみ	明	委員
市川	伯登	委員	金沢	美矢子	委員
馬場	信男	委員	前野	和男	委員
高山	延之	委員	松尾	かつや	委員
高吉	岡茂	委員	鈴木	けんいち	委員
鴨下	藤和	委員	さとう	純	委員
加藤	井ひで	委員	橋本	ミチ彦	委員
新藤	沼次	委員	伊米	山や	委員
長	塩英	委員	野	中	委員

# 足立区議会公明党

一般会計	認定
国民健康保険特別会計	認定
介護保険特別会計	認定
老人保健医療特別会計	認定

平成17年度決算は、実質収支47億円の黒字を計上し、昨年度に引き続き良好な水準である。財政状況は、特別区民税が8年ぶりの増額で全体では対前年度比35%、12億円の増となった。しかし、財政調整交付金、地方消費税交付金は減額で、自主財源比率は依然として低く、大変厳しい状況にある。歳出は、民生費が2年続けて1千億円を上回り、歳出全体の47%を占めている。性質別では、義務的経費のうち、人件費の9億円減額は高く評価するが、扶助費は16億円増額となり、今後も更に注視が必要である。投資的経費は、日暮里・舎人線駅前広場の新設や土地開発公社の買戻し等により、57億円の大増となった。また、国民健康保険等の3特



美子 沢 委員

政の健全化に大きな成果を上げ、安定した民主的区政をつくり上げたことは、大いに評価する。平成17年度の普通会計決算では、実質収支は47億4千万円の黒字で、前年度より4億9千万円の減となったが、引き続き良好な水準を維持している。

また、湯河原区民保養所の不祥事を契機に、議会・執行機関の積極的な取り組みで、コンプライアンス推進体制が整備された。今後はその徹底と定着に向けて、執行機関とともに努力を惜しまないものである。最後に、次年度の予算編成は、我が党委員の指摘した様々な提案及び要望を尊重し、その実現に努力されるよう強く要望する。

本決算は、増税や保険料の値上げ等、大幅な負担増が区民を襲い、働いても生活保護基準以下の生活しかできない人、いわゆるワーキングプアが増えている。05年度は歳入が122億円の増となり、積立金は現在47億円で、バブル期に近づいている。一方、区民の生活は、生活保護受給者が年間6%増え、国保料の収納率も下がり、生活悪化が進んでいる。配偶者特別控除の廃止等の増税や使用料等の値上げにより、区民の負担は増加し、

現在「戦後最長の景気」と言われているが、区内には好景気を実感できる業種、企業、個人は少なく、厳しい状況にある。また、小泉政権の5年間は、いずれの改革をも中途で放棄し、「弱者」を大量に生み出した。そのような中、区は自治体経営の根幹に「区民との協働」をすえ、地域コミュニティの再生や公共施設の大量更新、少子高齢社会への対応等の諸課題に鈴木区長のもと取り組んでいる。平成17年度決算も、適正な実質収支比率、経常収支比率の改善、義務的経費の抑制、鉄道立

「市場化テスト」による区民事務所の窓口業務委託は、「個人情報漏洩が危惧され、経費の削減にもならず、サービス低下は避けられない」もので、偽装委託の疑いもあり、やめるべきだ。国民健康保険特別会計では、05年度に国保料の値上げが行われたが、区民の負担を減らす姿勢が見えず認められない。わが党は、05年度も区民生活を支えるため予算組替を提案した。子ども医療費助成の拡大や青年雇用問題等、やる気があればできることが明らかになった。本特別委員会でも、独自の区民アンケートを踏まえ、様々な提案をした。これらの声を真摯に受け止め、真に自治体らしい自治体として区政運営を行うよう強く要望する。



やすし 山 委員

# 足立区議会民主党

一般会計	認定
国民健康保険特別会計	認定
介護保険特別会計	認定
老人保健医療特別会計	認定

# 足立区議会自由民主党

一般会計	認定
国民健康保険特別会計	認定
介護保険特別会計	認定
老人保健医療特別会計	認定

平成17年度は、「協働」を基本理念とする基本構想と、これを具体化する基本計画の初年度であり、人口減少社会における公共施設「再配置審議会」を設置する等、将来を見据えた年であった。また、竹ノ塚駅付近鉄道高架の早期実現に向け、区民・議会・執行機関が一体となり国等へ要請行動を行う等、積極的な対応が計られた年でもあった。少子高齢社会への急速な移行と、人口減少社会の到来という社会変動の中、扶助費の増大や学校施設等の更新需要を抱え、当区は大幅な依存財源に頼らざるを得ない。そのような状況の中で、鈴木区長が区民との「協働」のもと全力で取り組み、財



和明 加藤 委員

政の健全化に大きな成果を上げ、安定した民主的区政をつくり上げたことは、大いに評価する。平成17年度の普通会計決算では、実質収支は47億4千万円の黒字で、前年度より4億9千万円の減となったが、引き続き良好な水準を維持している。

また、湯河原区民保養所の不祥事を契機に、議会・執行機関の積極的な取り組みで、コンプライアンス推進体制が整備された。今後はその徹底と定着に向けて、執行機関とともに努力を惜しまないものである。最後に、次年度の予算編成は、我が党委員の指摘した様々な提案及び要望を尊重し、その実現に努力されるよう強く要望する。

本決算は、増税や保険料の値上げ等、大幅な負担増が区民を襲い、働いても生活保護基準以下の生活しかできない人、いわゆるワーキングプアが増えている。05年度は歳入が122億円の増となり、積立金は現在47億円で、バブル期に近づいている。一方、区民の生活は、生活保護受給者が年間6%増え、国保料の収納率も下がり、生活悪化が進んでいる。配偶者特別控除の廃止等の増税や使用料等の値上げにより、区民の負担は増加し、

現在「戦後最長の景気」と言われているが、区内には好景気を実感できる業種、企業、個人は少なく、厳しい状況にある。また、小泉政権の5年間は、いずれの改革をも中途で放棄し、「弱者」を大量に生み出した。そのような中、区は自治体経営の根幹に「区民との協働」をすえ、地域コミュニティの再生や公共施設の大量更新、少子高齢社会への対応等の諸課題に鈴木区長のもと取り組んでいる。平成17年度決算も、適正な実質収支比率、経常収支比率の改善、義務的経費の抑制、鉄道立

「市場化テスト」による区民事務所の窓口業務委託は、「個人情報漏洩が危惧され、経費の削減にもならず、サービス低下は避けられない」もので、偽装委託の疑いもあり、やめるべきだ。国民健康保険特別会計では、05年度に国保料の値上げが行われたが、区民の負担を減らす姿勢が見えず認められない。わが党は、05年度も区民生活を支えるため予算組替を提案した。子ども医療費助成の拡大や青年雇用問題等、やる気があればできることが明らかになった。本特別委員会でも、独自の区民アンケートを踏まえ、様々な提案をした。これらの声を真摯に受け止め、真に自治体らしい自治体として区政運営を行うよう強く要望する。

## 決算特別委員会の討論(要旨)

現在「戦後最長の景気」と言われているが、区内には好景気を実感できる業種、企業、個人は少なく、厳しい状況にある。また、小泉政権の5年間は、いずれの改革をも中途で放棄し、「弱者」を大量に生み出した。そのような中、区は自治体経営の根幹に「区民との協働」をすえ、地域コミュニティの再生や公共施設の大量更新、少子高齢社会への対応等の諸課題に鈴木区長のもと取り組んでいる。平成17年度決算も、適正な実質収支比率、経常収支比率の改善、義務的経費の抑制、鉄道立

「市場化テスト」による区民事務所の窓口業務委託は、「個人情報漏洩が危惧され、経費の削減にもならず、サービス低下は避けられない」もので、偽装委託の疑いもあり、やめるべきだ。国民健康保険特別会計では、05年度に国保料の値上げが行われたが、区民の負担を減らす姿勢が見えず認められない。わが党は、05年度も区民生活を支えるため予算組替を提案した。子ども医療費助成の拡大や青年雇用問題等、やる気があればできることが明らかになった。本特別委員会でも、独自の区民アンケートを踏まえ、様々な提案をした。これらの声を真摯に受け止め、真に自治体らしい自治体として区政運営を行うよう強く要望する。

また、区役所や区民事務所には、機能強化とサービスの向上、各行政センターの業務には、変化する区民要望への的確な対応が必要である。わが会派は、就学援助のあり方や、生活保護の適正な執行、新田のまちづくり、西新井公園計画、町会・自治会への助成等、区政全般について質疑した。区長をはじめ三役は、包括予算制度の短所を補って長所を伸ばせるよう議会の意思を尊重し、区政の総合的かつ手続きを踏んだ運営について、さらに意注がれることを要望する。以上、わが会派からの意見、要望を真摯に受け止め、平成19年度予算案に反映させることを改めて申し入れるものとする。

# 日本共産党足立区議団

一般会計	不認定
国民健康保険特別会計	不認定
介護保険特別会計	不認定
老人保健医療特別会計	認定

# 東京都・足立区合同防災訓練に 足立区議会議員も参加



前列左から、しのはら区議会議長、川島都議会議長、鈴木区長、石原都知事、小泉首相(当時)

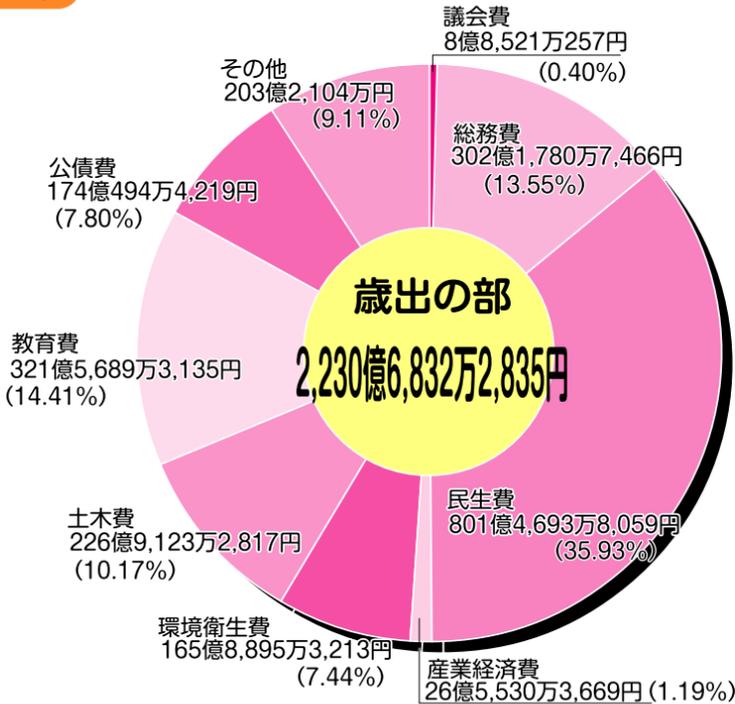
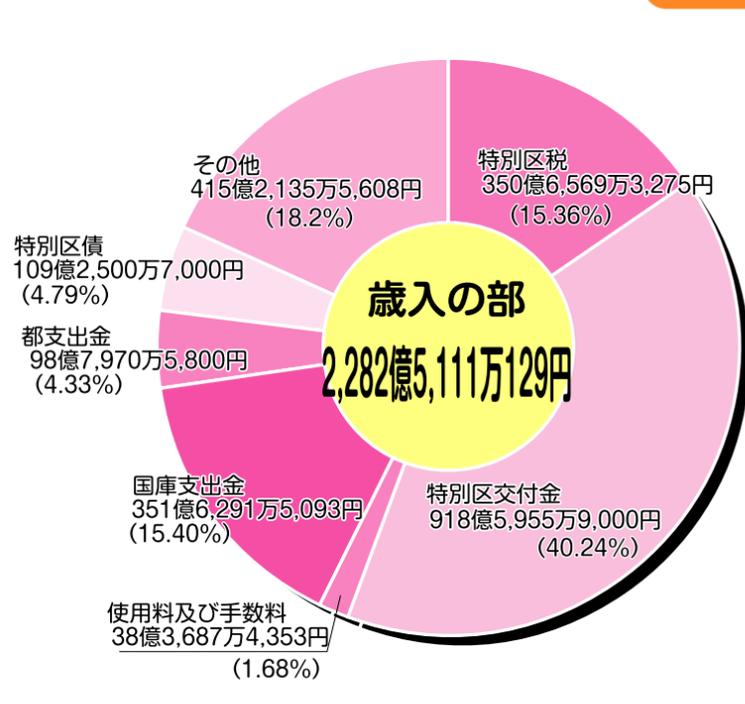
9月1日の「防災の日」に、平成18年第27回八都府県市合同防災訓練が実施されました。  
この訓練は、八都府県市(埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市)が毎年実施しているもので、今年は、東京都と足立区の合同による大規模な訓練となりました。

区内では、荒川河川敷や都立舎人公園、花畑・六町地区、北千住駅周辺の4会場で行われ、雨にもかかわらず区内の258団体2万7千400人の方々が参加しました。  
当日は、しのはら守宏足立区議会議長をはじめとする区議会議員と、小泉首相(当時)や、石原都知事、鈴木足立区長とともに、荒川河川敷の会場で、訓練の様子を視察しました。



今回の訓練は、東京湾北部に直下地震の発生を想定して行われました。この想定によると、都内では死者5千248人、負傷者15万2千336人で、区部を中心に約9千200基のエレベーターで、閉じ込めが発生することになります。  
北千住駅前会場では、エレベーター内に利用者が閉じ込められたという想定で、警視庁特科車両隊の隊員がエレベーターの扉を開け、利用者を救出する訓練も実施されました。  
その他にも、荒川河川敷から船で帰宅困難者を各県に送り届けたりと、近県からの支援物資を船や航空機で輸送するなど、訓練は多岐にわたるものでした。

## 一般会計



## 平成17年度各会計決算

**区議会ダイヤル**  
 足立区議会自由民主党 TEL.3880-5760  
 足立区議会公明党 TEL.3880-5765  
 日本共産党足立区議団 TEL.3880-5770  
 足立区議会民主党 TEL.3880-5775  
 \* 議員の連絡先は、わたしの便利帳や区議会ホームページなどでご確認いただくか区議会事務局にお問い合わせください。  
 足立区議会事務局 TEL 3880-5996  
 ホームページ <http://www.gikai-adachi.jp>

